



自動運転社会を見据えた 都市づくりの在り方

2022年（令和4年）3月

 東京都



「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方」の策定に当たって

少子高齢、人口減少社会となる 2040 年代に向けて、安全・安心、快適な、人を中心としたまちづくりが進展するよう、自動運転などの先端技術をまちづくりや交通に生かすことが重要となります。

都は、これまで自動運転等の社会実装に向け、交通事故の減少や渋滞の緩和等に資する先端技術の展開の在り方と具体の方策について、自動運転技術の普及を都市づくりにどのように展開していくか検討を重ねてきました。

今般、これまでの検討や自動運転技術の普及見込み等を踏まえ、にぎわい空間の創出やスムーズな移動の実現などの 2040 年代における目指すべき東京の将来像の実現に向けて、自動運転技術の都市づくりへの展開に向けた基本的な考え方と今後の取組の方向性を「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方」として、取りまとめました。

目標年次である 2040 年代へ向け、自動運転社会を見据えた都市づくりを推進し、道路空間におけるゆとりやにぎわいの創出を図って、安心してまち歩きが楽しめるような都市を目指してまいります。

令和 4（2022）年 3 月

東京都都市整備局

目次

第1章 はじめに	1
1.1 目的	2
1.2 対象区域	2
1.3 目標時期	2
1.4 位置付け	3
第2章 目指すべき東京の将来像と課題	4
2.1 都市内交通における目指すべき東京の将来像（2040年代）	4
2.2 目指すべき東京の将来像の実現への方向性	5
(1) 多様な交通モードの充実によるコンパクトでスマートな都市の実現	5
(2) 鉄道ストックを基軸とし、新たなモビリティやMaaSなどの先端技術を活用した 人中心のモビリティネットワーク構築によるスムーズな移動の実現	7
(3) 道路空間の再配分により、 車と人の適切な分担や中心部ににぎわい空間創出の実現	9
(4) ポストコロナを見据えた新しい日常が定着したまちづくりの実現	11
2.3 現状と課題	13
(1) 地域区分の設定	13
(2) 東京都の現状	15
(3) 各地域区分の交通課題	42
第3章 自動運転技術の開発状況、普及予測	43
3.1 自動運転技術の概略	43
(1) 自動運転レベル	43
(2) 自動運転に必要な技術と制度	44
1) 車両技術やシステム	47
2) インフラ、通信	51
3) 法制度	54
3.2 自動運転車の開発状況、普及予測	55
(1) 自動運転技術の開発状況	55
(2) 普及予測	66
(3) 今後普及が見込まれる新たなモビリティ	67
1) 新たなモビリティの種類	67
2) 新たなモビリティの走行について	68
第4章 都市づくりへの展開に向けた基本的な考え方	69
4.1 都市づくりへの展開に向けた基本的な考え方	69
(1) 対象とする交通施設・サービス	69
(2) 前提条件（現時点における2040年代の想定）	71
(3) 基本的な考え方	74
1) 道路空間	74
2) 駅前空間	94
3) 駐車場	98
4) 自動運転車の活用	105
4.2 将来イメージ図	113
第5章 自動運転社会を見据えた都市づくりの推進に向けて	128
5.1 自動運転技術の開発動向を踏まえた在り方のバージョンアップ	128
5.2 自動運転社会を見据えた都市づくりの推進	129
参考資料 1 用語の解説	130
参考資料 2 検討経緯	135
参考資料 3 検討会委員名簿	136